

平成22年度

観光実践講座

街を活かす 街を楽しむ

観光・旅行に関するコンサルティングを専門とする
(財)日本交通公社による短期集中型人材育成講座

ご案内

財団法人日本交通公社では、観光・地域振興関連事業の担い手である自治体の方々を対象として、「観光基礎講座」を毎年6月に開催していますが、この「観光実践講座」はその応用編として、地域の現場で実践されている方々を講師としてお招きし、具体的な考え方や実際の行動に役立つヒントをいただく内容で構成しています。

観光振興は国や地域にとってますます重要なテーマとなっていますが、大切なのは地域が主体となること、地域全体の戦略として観光をとらえることです。どのように地域の人たちをまきこみ、地域の資源を活かしていけば良いのか、各地の取り組みを参考にしながら考えましょう。そして観光を通じ、新しい時代の価値観を地域から発信していきましょう。

本年のテーマは「街を活かす 街を楽しむ」。住民が楽しむまちづくりあつての観光について各地の取り組みに学びます。また「地域におけるインバウンド推進策」「自転車の活用」といった今日的課題についても各講師からヒントをいただきます。

観光行政のご担当者様、観光による地域振興を志す皆様のご参加をお待ちしております。

主催	財団法人 日本交通公社
開催日時	平成22年11月25日(木) 9:45開講(開場 9:30) 平成22年11月26日(金) 16:20閉講
会場	東京文化会館 4階 中会議室1 (JR上野駅公園口 徒歩1分)
対象	観光による地域振興に携わる地方自治体のご担当者様 観光関連事業のご関係者様
募集人員	30名(お申し込み順)
締め切り	平成22年10月28日(木)
受講料	2日間 30,000円 (参加お一人様消費税込、当財団賛助会員は27,000円、交流会費別) *2日間のご参加が原則ですが、申し込み状況によって、どちらか1日のみのご参加も受け付けます(お一人様16,000円、賛助会員14,400円)。 1日のみ参加確定のご返答は、11月1日以降になりますのでご了承ください。

東京文化会館 案内図



会場案内

東京文化会館 4階 中会議室 1

東京都台東区上野公園5-45
JR上野駅 公園口 徒歩1分、
地下鉄上野駅 7番出口 徒歩1分
*「ホール」ではなく「楽屋口」よりお入りください

参加費

受講費:お一人様 30,000円
(当財団賛助会員 27,000円)

- *消費税を含みます。
- *お申し込み後の取り消しはご容赦願います(代理の方がご出席下さい)。
- *2日間のご参加が原則ですが、申し込み状況によって、どちらか1日のみのご参加も受け付けます(お一人様16,000円、賛助会員14,400円)。
- 1日のみ参加確定のご返答は、11月1日以降になりますのでご了承ください。

交流会費別途 ※当日集金します

申込先切

お申込みアドレス

<http://www.jtb.or.jp/jissen.html>

検索

当財団ホームページからお申し込み下さい。
折り返し受講料ご請求書と参加証をお送りいたします。

お申込み締切日は10月28日(木)

※定員に達し次第、締め切りとさせていただきますのでご了承ください。

【個人情報の取扱いについて】

※上記、ご記入頂く個人情報は当財団が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。
※当財団の個人情報の取扱いについては上記ホームページをご覧ください。

お問い合わせ 当講座に関するお問い合わせは、下記担当者までお願いいたします。

(財)日本交通公社 観光文化事業部 岡田・久保田
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル9階
TEL:03-5208-4704 FAX:03-5208-4707
E-mail:jtbfsseminar@jtb.or.jp

午前

開講9:45(開場9:30)

オリエンテーション

講義1 “楽しむ” 気持ちの連鎖が人を呼ぶ

講師 財団法人日本交通公社 常務理事
小林 英俊(こばやし ひでとし)

地域に根ざした生活・文化を志向する観光の時代になりました。住民が楽しみながら暮らす姿や、未来へ託す想いや気持ちが来訪者にも伝わって、その気持ちの連鎖が人を惹きつけているのです。
時代の大きな流れの中で観光はどのように意味を変え、またこれからは、どのような考え方が必要になってくるのか、解説・提案します。

昼食休憩

講義2 時速10キロで感じるまち観光
～自転車は手段・決め手は編集力

講師 (有)京都サイクリングツアープロジェクト 代表取締役
多賀 一雄(たが かずお)氏

最近「自転車」への関心が高まっています。観光地でもレンタサイクル、コミュニティサイクル導入がブーム化する様相ですが、電動自転車の購入・レンタル事業がゴールになっていないでしょうか。
自転車で旅する魅力を提唱し起業してから9年、多くの外国人を含む25万人以上のお客様を楽しませてきた実践の現場から、自転車で街を楽しむ本当のノウハウと、自転車による新しいまち観光を提案いただきます。都市であっても静かな山村であっても、「時速10キロ」ならではの楽しみ方があるのです。

休憩

講義3 市民協働のまちづくり型観光
～“江戸優り” 佐原の活力はどこから?

講師 千葉県香取市 市民環境部市民活動推進課長
椎名 喜予(しいな きよ)氏

歴史的な町並み、伝統的な祭り行事、小江戸文化、水運と水辺景観……地域資源に磨きをかけて官民一体のまちづくりを進めてきた香取市佐原。「もはや市民参加ではなく“行政参加”の時代」と語る椎名さんから、「市民が主体的に進めるまちづくり型観光」のために行政はどのようにかかわってきたのか、じっくりお聞きします。また、地の利を活かした外国人観光客の誘致や「食」への取り組み、早くから掲げてきた「心の観光」という考え方など多くのヒントをいただきます。

休憩

受講者による事例報告・意見交換会 (～19:00頃終了)

- 意見交換会1(参加者自己紹介)
- 意見交換会2(懇親会)

午前

開始 9:30

講義4 訪日旅行調査結果から見る外国人観光客の行動と志向

財団法人日本交通公社

観光庁が今年度から始めた「訪日外国人消費動向調査」結果などから、主要五カ国の観光客の行動や志向の違いについて、たとえば100円ショップやドラッグストアなど生活に身近な場所への意外な関心の高さなど、事例をまじえてわかりやすく解説します。

昼食休憩

講義5 「きずなストーリー」から始まる地域の
人づくり・元気づくり

講師 三重県政策部理事・「美し国おこし・三重」実行委員会事務局長
藤本 和弘(ふじもと かずひろ)氏

“ポスト式年遷宮”を見据え、三重県が選択したのは大型イベントプロジェクトではなく、県をあげての人材育成と地域活性化の新しい試み。県域全体を対象とする、小さな自主的な活動を支援するプラットフォーム型地域づくりへの挑戦です。すでに132ものパートナーグループが活動を始め、注目を集めています。
キーワードは“きずな”。専門家によるグループの自立性・持続性支援、横のつながりネットワーク化支援など、実験的でユニークなこの取り組みには役立つヒントが詰まっています。

休憩

講義6 「国際観光都市 飛騨高山」の観光戦略

講師 岐阜県高山市商工観光部 参事
片岡 吉則(かたおか よしのり)氏

2009年、日本への外国人観光客数が対前年比マイナス18.7%と大きく減少したなか、高山市へは、ヨーロッパ等一部の地域から前年を上回る観光客が訪れ、全体でも13.5%の減少にとどまりました。急激に注目の高まる中国人観光客の動向にもぶれない、飛騨高山は真に競争力を持つ国際観光都市なのです。
その力の源は、地に足のついたまちづくりの積み重ね、住民の主体性とそれを絶妙にサポートしてきた行政の知恵。先進的なIT技術もいち早く取り入れるなど、古きを活かしながら新しいものにチャレンジする高山の観光を学びます。

総括(ふりかえり) (財)日本交通公社 常務理事 小林 英俊 ～16:20

アンケート記入

閉講 16:20

午後